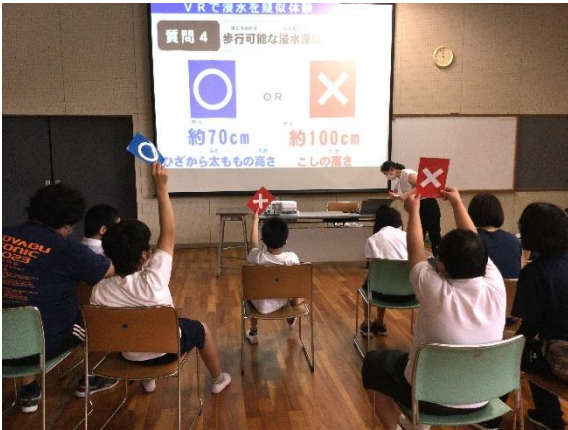


「防災学習の日」を行いました

令和5年9月21日(木)「防災学習の日」として、命を守る訓練と体験型の防災学習を行いました。地震体験車で地震を体験するコーナー、煙の中を避難する体験コーナー、映像機器を使った浸水疑似体験コーナー等、さまざまな体験をしました。浸水疑似体験では、小学部児童は浸水映像の視聴後に○×クイズや洪水の実験をし、高等部生徒は浸水体感VRで浸水を疑似体験しました。VRの体験後、生徒からは「洪水で車が流されるのを見て怖いと思った」「できるだけ早く避難をしようと思う」「避難のタイミングが分かった」等の感想があり、洪水を身近なことと感じて危機感を高める生徒が多かったです。中学部生徒は、災害の種類や、災害時にはどう行動すればよいかを考え、出てきた疑問や質問を、講師(清流の国ぎふ防災・減災センター)の方に質問し、教えていただきました。日常の生活では体験できないさまざまな体験ができ、児童生徒の防災への意識が高まった防災学習の日となりました。



一般社団法人中部地域づくり協会の協力による浸水体感VRの様子



岩村消防署の協力による煙道体験・地震体験車の様子



清流の国ぎふ防災・減災センターの協力による防災についての質問のやりとりと、中学部の様子